



<学校教育目標>

郷土を愛し、将来を見つめ、賢く、優しく、逞しく生きる「星のっ子」の育成

<令和2年度重点目標>

- ①自分の将来像を描き、学習に打ち込む生徒の育成
- ②社会に通用する礼儀やマナーを身につけた生徒の育成

今年も残すところ1か月

暖かい日が続いていましたが、ここに来て寒さが増し、来週はもう12月。今年も残すところ1か月となりました。中学校では一昨日、後期中間考査が終わり、子ども達の会話には冬休みのことが出始めています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大は続いており不安と緊張感が漂っています。学校では対策をとり感染をくい止めていきたいと思っています。その一つとして、文科省からの感染症対策支援事業を利用して、空気清浄機を購入し全教室に設置しました。(右写真)

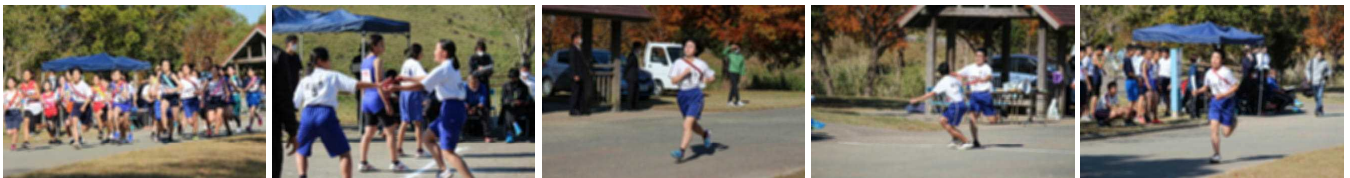
**交通安全教室**

福岡県では自転車による交通事故が多く発生しています。11月11日、交通安全教室を行いました。星野駐在所のおまわりさんから、自転車が歩行者にぶつかり、けがをさせたり死亡させたりして、多額の賠償金が請求された事例を話していただきました。子ども達は真剣に話を聞きながら「左側通行」「一旦停止」などの交通ルールを守ることの大切さを学びました。

福岡県では10月から、自転車を利用する人は損害賠償保険に必ず加入することになりました。保険に加入することは当然ですが、事故にならないように自転車の運転に細心の注意を払ってほしいと強く思っています。

**タスキに気持ちを込めて 八女地区駅伝大会**

11月12日、八女地区駅伝大会が筑後広域公園で行われました。この日は天気がよく、汗ばむ陽気となりましたが、この暑さに負けることなく、子ども達は必死にタスキをつないでいました。残念ながら上位にはなりませんでしたが、素晴らしい走りができたと思います。これまで早朝練習に頑張ってきた駅伝部の皆さん、お疲れでした。

**保護者も一緒に スマホ利用教室**

新型コロナの影響で、家の中で過ごすことが多かったせいかもしれませんが、スマホ等でのSNSが原因となる事件やトラブルが増えているようです。そこで11月16日、「スマホ利用教室」を実施し、スマホ等の使い方の学習をしました。今回、講師の先生の話はリモートです。福岡市から大型画面に送られてくる映像を見ながら、どうしたら安全に使うことができるか考えました。スマホ等は便利であるとともに危険性もある道具。被害者にも加害者にもならないようしっかりと理解し、正しく判断できる力を身につけた上での利用が大切です。

**地元の方から学ぶ防災教室**

前にもお知らせしましたが、本年度、文科省の学校総合安全支援事業を受けて、防災教育の取組を進めています。その一環として防災教室を11月25日に行いました。講師は、星野村で活躍されている山口聖一さんです。山口さんは、平成24年7月九州北部豪雨の写真を示しながら、災害から命を守るために何が必要かを話されました。

豪雨災害から8年が経ち、記憶がだんだん薄れてきている今、当時を振り返り防災への意識を高める貴重な学習となりました。

